

令和2年 第21回帯広市教育委員会会議録

1. 令和2年 9月3日 木曜日 16時45分 ～ 17時40分
帯広市教育委員会会議を帯広市役所 10階第2会議室に招集する。

2. 本日の出席者

教 育 長	池 原 佳 一
教 育 委 員	田 中 厚 一
教 育 委 員	藤 澤 郁 美
教 育 委 員	佐々木 しゅり
教 育 委 員	塩野谷 和 男

3. 本日の議事日程

- 日程第1 会議録署名委員の指名について
- 日程第2 報告第19号 帯広市教育支援委員会委員の委嘱について
- 日程第3 その他(1) 今後の事業予定について
その他
- 日程第4 議案第54号 財産取得について【非公開】
議案第55号 財産取得について【非公開】
議案第56号 財産取得について【非公開】
- 日程第5 議案第57号 令和元年度帯広市一般会計歳入歳出決算認定について【非公開】

池原教育長

ただ今から、令和2年第21回帯広市教育委員会会議を開会いたします。

出席委員は全員であります。

会議は成立しております。

ここで諸般の報告をいたします。

(佐藤企画総務課長 報告)

日程第1、会議録署名委員の指名を行います。

会議録署名委員は、田中委員及び藤澤委員を指名いたします。

日程第2、報告第19号、帯広市教育支援委員会委員の委嘱についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

広瀬 部長

報告第19号、帯広市教育支援委員会委員の委嘱についてご説明いたします。議案書33ページでございます。帯広市教育支援委員会は帯広市教育支援委員会設置規則第3条第1項の規定により、医師、学識経験者、教育職員、児童福祉施設の職員、関係行政機関の職員、その他教育長が適当と認めた者のうちから、教育委員会が委嘱することになっているほか、同条第2項の規定により、臨時の委員を委嘱することができることになっております。この度、北海道立緑ヶ丘病院から東端委員の代わりとして、医師2名が今年度の教育相談における医学部門を対応していただけることになりましたことから、新たに正木慎也氏外1名を帯広市教育支援委員会委員に委嘱したものであります。なお、委嘱期間につきましては、医師2名はそれぞれが担当する日1日限りの臨時委員として委嘱したものでございます。報告は以上です。

これから質疑に入ります。

ありません。

別になければ、質疑を終結し、本件を終了します。

日程第3、その他に入ります。

その他(1)今後の事業予定についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

池原教育長
各 委 員
池原教育長

石津 課長

議案書35ページ以降になります。生涯学習部に関する主な事業予定につきましてご説明させていただきます。はじめに生涯学習文化課では新型コロナウイルス感染症の影響で休止していました市民大学講座を10月から再開するもので、とかちプラザ視聴覚室外において、第1集から第5集の開講を予定しております。次に36ページ、図書館では図書館開館100周年事業として、「朗読とカンテレで親しむ宮沢賢治の世界」を10月4日、図書館多目的視聴覚室にて予定しております。次に39ページ、児童会館では新型コロナウイルス感染症対応のため、例年実施しておりました市内小学校の宿泊学習の代わりとして、今年度は日帰り学習での実施を予定してございます。

次に 41 ページ、百年記念館ではアイヌ文化ロビー展を 10 月 3 日から 10 月 25 日まで予定しております。次に動物園では中学生以上を対象に事前に応募を受付けまして、1 日飼育係を 10 月 12 日に予定してございます。最後に 42 ページ、スポーツ課では毎年秋に開催されております、フードバレーとかちマラソンの代わりとして、スマートフォンアプリを利用した「2020 フードバレーとかちマラソン on the Web」を 10 月 1 日から 11 月 1 日の期間で予定しております。説明は以上であります。

池原教育長
各 委 員
池原教育長

これから質疑に入ります。

ありません。

別になれば、質疑を終結し、本件を終了します。

事務局からその他説明事項はありますか。

事 務 局
池原教育長

ございません。

事務局からは特にはないようですが、各委員から他にご意見、ご質問等があれば、お受けいたします。

各 委 員
池原教育長

ありません。

別になれば、ここで会議の進め方についてお諮りいたします。

日程第 4 及び日程第 5 の案件については、帯広市教育委員会会議規則第 16 条第 1 項第 3 号により、非公開にしたいと存じます。

これにご異議ありませんか。

各 委 員
池原教育長

異議なし。

ご異議なしと認め、そのとおりに取り扱いたします。

これより会議を非公開といたします。

日程第 4、報告第 54 号、議案第 55 号及び議案第 56 号、財産取得についてを一括して議題といたします。

直ちに説明を求めます。

広瀬 部長

議案第 54 号、議案第 55 号、議案第 56 号の財産取得についてご説明いたします。議案書 1 ページから 5 ページになります。本案は帯広市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分並びに重要な公の施設の利用又は廃止に関する条例第 3 条におきまして、予定価格 3 千万円以上の動産の買入れについては、議会の議決に付さなければならないとされておりますことから、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 29 条の規定に基づき、議会の議決を経るべき事件の議案について、教育委員会の意見を述べようとするものであります。最初に議案第 54 号につきましては、緑丘小学校外 15 校の児童生徒用タブレット端末 3,895 台を 2 億 3,583 万 3,400 円で、議案第 55 号につきましては、帯広小学校外 11 校の児童生徒用タブレット端末 4,261 台を 2 億 2,039 万 8,860 円で、議案第 56 号につきましては、西小学校外 11 校の児童生徒用タブレット端末 3,846 台を 1 億 9,912 万 5,960 円で、いずれも株式会社曾我より取得するもので

ございます。説明は以上です。

池原教育長
塩野谷委員

これから質疑に入ります。

競争入札のやり方については全くわかりませんが、3つすべて株式会社曾我ということで、1回目と2回目では値段が下がってくるものですか。

服部 室長

今回の入札の仕方でございますけれど、先ほど部長からもご説明させていただきましたように、議決は本来3千万円以上ということで、合計しますと6億5千万円程度になります。地域の経済対策ということで、幅広く機会を与えるために、条件付き一般競争入札ということでやらせていただいております。台数につきましては均等に分かれるように入札させておりました、条件としましては、地元には本社のある企業ということで入札させていただいております。ほぼ落札率は同じですが、若干差異がある部分については、落札する側の都合と言いますか、この3本について、1つの入札については同一メーカーでお願いしていますが、それぞれメーカーも異なる部分がございますし、若干金額に差異が出ますが、ほぼ同じ落札率と考えております。

塩野谷委員

この3本ではメーカーがそれぞれ違うということですか。単純に考えて、同じメーカーであれば同じくらいの値段だと思うが。

服部 室長

入札の結果ですので、まだ、細かく相手から聞き取る状況になく、具体的な話はまだ聞いておりませんが、積算で募集する段階で、競争原理という部分もございまして、全国一斉にGIGAスクールということで端末を整備する中で、タブレットを用意できるかどうかはかなり大きな問題としてありました。私どもは3つの入札すべて同じメーカーでも構わないのですが、結果的には非常に難しいというお話を伺っておりました。メーカーが違うことにより、仕入れ値などの都合もあろうかと考えており、結果的には全部同じ金額にはならなかったと想像しております。その後の具体的な話については、契約した段階で意見として伺えればと考えております。

塩野谷委員

1本目と3本目は重量が同じだから、同じメーカーですか。2本目は重量が違いますよね。それとも全部違うのでしょうか。

広瀬 部長

今回の入札の仕方ですけれど、その1のグループ、その2のグループ、その3のグループと3つに分けて、それぞれ業者が入札に参加しています。たまたま株式会社曾我がすべて入札したということです。本来、1本でも良かったのですが、1万2千台なので、地域の中で分散して渡らないとか、難しい面があると考えて分けたものです。1台あたりの単価で割り返せば、大きな相違はないのですが、実情については、入札者の考え方になりますので、そこはわかりかねますが、台数が多いと安く入るかもしれませんし、結果として、概ね1台5万円ちょっとくらいです。

塩野谷委員

1本目と3本目では3千万円以上の違いがありますが、メーカーは特に指定はしないということですね。

服部 室長

今回の入札で若干当初の予定価格より、その1、その2、その3では一部違うものがありまして、その1の方には全体のセキュリティソフトが一括して入っているものですから、その1は若干金額が大きくなっているということがございます。

塩野谷委員

セキュリティの何が入っているのですか。

服部 室長

1万2千台分のセキュリティソフトがその1にまとめて入っており、その分少し高くなっております。児童生徒というよりも、この後に入札する教職員分の端末があり、それと連携するための仕様上必要なものをどこかに入れなければならず、細かい話になりますが、そういった積算の部分をその1の方に入れており、若干その1の数字が大きくなっております。

塩野谷委員

単純に3つにわけたというわけではないということですね。

服部 室長

エリアの関係とか学校の選別もあり、台数がどうしても、きっちり3分の1にはならない部分もありますし、教員端末との連携の部分については分けるわけにはいかないものですから、その1に入れさせていただきました。単純には割り切れないということで、ご理解いただければと思います。

塩野谷委員

わかりました。

池原教育長

他になれば、質疑を終結します。

お諮りいたします。

議案第54号、財産取得について、外2件は原案のとおり了承することにご異議ありませんか。

各 委 員

異議なし。

池原教育長

ご異議なしと認め、議案第54号、外2件は了承されました。

日程第5、議案第57号、令和元年度帯広市一般会計歳入歳出決算認定についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

広瀬 部長

議案第57号、令和元年度帯広市一般会計歳入歳出決算認定についてご説明いたします。議案書7ページをご覧ください。本案は地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき、議会の議決を経るべき事件の議案について、教育委員会の意見を述べようとするものであります。議案書8ページ、上段に（歳入）教育委員会合計の欄をご覧ください。教育委員会全体の令和元年度収入済額は総額14億5,032万7,358円となっております。学校教育所管分についてご説明いたします。主な歳入のうち、諸収入の奨学資金貸付金元金は予算額3,104万3千円に対し、調定額は4,397万4,700円となっております。収入済額は右側の主な事業に記載のとおり、4,108万1,100円で、収入済額は予算対比で1,003万8,100円の増

となっております。これは、繰上返還の増が主な要因であります。また、収入未済額は289万3,600円となり、平成30年度と比較しても同程度でございます。今後も夜間督励やきめ細やかな納付相談等により、収納率向上に努めてまいりたいと考えてございます。次に学校給食費収入は、予算額6億7,834万9千円に対し、調定額は6億3,659万3,679円で、収入済額は6億642万2,532円、収入済額は予算対比で7,192万6,468円の減、収入未済額が3,035万2,202円で、収入未済額は平成30年度と比較して、336万706円減少しております。今後も給食費の自動振替制度や児童手当からの委任払いの活用など、関係機関と連携した細やかな督励を行い、収納率向上に努めてまいりたいと考えております。寄附金につきましては、各基金に多くの賛同をいただき、教育振興基金寄附金に730万円、こども学校応援地域基金寄附金に298万3,617円のご寄附をいただきました。いただいた寄附金につきましては、子どもたちのために有効に活用させていただきます。次に10ページ、歳出でございます。令和元年度教育費全体の予算現額は、当初予算額に小学校・中学校のリニューアル改修事業費などの補正予算額等を合わせまして、総額62億323万円となっております。このうち、学校教育部所管分については、予算現額41億2,991万6千円に対し、決算額は33億9,065万8,701円、翌年度への繰越額は5億3,685万1千円であり、2億240万6,299円が不用額となっております。主な不用額の要因についてご説明いたします。教育総務費中、事務局費では不用額の欄にあるとおり、1,335万5,922円の不用額が生じました。就学資金貸付金において、新規奨学金申請者が減ったことによる貸付金の減などが主な要因であります。次に小学校費及び中学校費につきまして一括してご説明いたします。小学校費中、学校管理費、不用額3,494万1,919円及び中学校費中、学校管理費、不用額1,217万4,651円は、いずれも特別支援教育補助職員費において、児童生徒欠席に伴う生活介助員の賃金及び社会保険料が減少したこと、スクールバス運行事業費におきまして、校外活動スクールバスの運行距離、時間数の減などにより委託料が減少したこと、小・中学校の学校管理費において、新型コロナウイルス感染症の流行による学校の臨時休業に伴い、燃料の購入に要する需用費の減少などが主な要因でございます。次に小学校費中、教育振興費、不用額1,579万3,774円及び中学校費中、教育振興費、不用額964万8,359円は、いずれも就学援助費において、対象となる児童・生徒の減少による就学援助に要する扶助費の減などが主な要因でございます。次に高等学校費中、学校管理費の不用額610万8,448円は学校管理費において、水道や燃料の使用量の減少に伴う需用費の減や学校事務処理システム機器の更新に伴う賃借料の減のほか、校舎ボイラー改修工事に伴いボイ

ラーに関する保守点検が不要となったことによる委託料の減などが主な要因でございます。次に保健体育費中、学校給食センター費の不用額 8,740 万 6,370 円は、学校給食センター管理費における、臨時職員の欠員による賃金及び社会保険料の減、学校給食業務費における、新型コロナウイルス感染症の流行に伴う給食の停止による経費の減などが主な要因でございます。令和元年度の主な事業の概要につきましては、議案書の 14 ページから 21 ページの政策 6-1、時代を担う人を育むまちづくりに記載しております。学校教育部に係わる説明は以上でございます。

井上 部長

続きまして、生涯学習部に関する決算及び事業概要についてご説明いたします。主な歳入につきましては、9 ページをご覧ください。使用料及び手数料は全体で予算額 1 億 860 万 7 千円に対し、1 億 661 万 4,702 円の収入済額となり、予算対比 199 万 2,298 円の減となりました。内訳につきましては、右側端の主な事業に記載してございます。まず、とかちプラザ使用料につきましては、プラザ内のラウンジ運営事業者の入れ替えに伴う行政財産使用料の増が主な要因となり、予算額に比べ 494 万 771 円増の 802 万 5,771 円となっております。また、動物園入園料につきましては、予算額に対し、268 万 9,285 円減の 3,271 万 3,715 円となっております。遊具使用料につきましては、同じく 155 万 800 円減の 4,114 万 9,200 円となりました。いずれも予算額には届きませんでしたけれども、昨年度の入園者数は僅かながら増えており、30 年度決算額と比べますと、この 2 つを合わせて、約 250 万円の増となっております。次に諸収入の欄をご覧ください。広告料につきましては、生涯学習部施設全体で 1,406 万 5 千円の予算額を見込んでいましたが、791 万 9,458 円に留まりました。帯広の森屋内スピードスケート場に掲示する広告の申込が半数以下となり、帯広の森屋内スピードスケート場だけで 620 万円の減となったことが主な要因でございます。また、諸収入の収入未済額に 3,200 万円とありますが、スポーツ振興くじ助成金として、予算額 3,138 万 8 千円を計上してございましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、独立行政法人日本スポーツセンターの書類審査が遅れたことにより、当初予定していた収入が未済となり、令和 2 年度の収入に繰り越されるものでございます。最後に中ほどの欄の寄附金につきましては、ふるさと文化基金からスポーツ振興基金までの各種基金に総額 1,655 万 7,411 円のご寄附を頂戴いたしました。いただいた寄附金につきましては、それぞれの目的に沿い、社会教育、スポーツの振興に有効に活用させていただきたいと考えてございます。次に歳出についてご説明いたします。議案書 11 ページをお開きください。生涯学習部所管分としまして、令和元年度予算現額 20 億 7,331 万 4 千円に対して、決算額は 20 億 4,183

万 6,731 円であり、3,147 万 7,269 円が不用額となっております。内訳につきましては、社会教育総務費中、とかちプラザ費で 245 万 7,437 円の不用額が生じております。とかちプラザの暖房ボイラー改修工事における入札額の減などが主な要因でございます。このほか、百年記念館費 328 万 5,760 円、図書館費 330 万 8,054 円、動物園費 351 万 8,551 円の不用額が生じておりますが、いずれも光熱水費の経費節減が主たる要因となっております。次に保健体育費中、保健体育総務費の不用額 973 万 7,266 円は、スポーツ大会派遣支援事業において、新型コロナウイルス感染症の影響による大会派遣中止による補助金の減などが主な要因でございます。最後に体育施設費、不用額 608 万 3,845 円は、社会体育施設整備において、帯広の森テニスコート改修工事の入札額の減などが主な要因となっております。なお、令和元年度の主な事業の概要につきましては、議案書 21 ページ、中ほどより下から、政策 6-2、ともに学び地域のきずなを育むまちづくりから、31 ページ、施策 7-1-4、アイヌの人たちの誇りの尊重までの中で記載をしております。生涯学習部に係る説明は以上でございます。

池原教育長
塩野谷委員

これから質疑に入ります。

予算の見方について教えていただきたいと思っております。歳出は予算現額に対して、決算額がありますけれど、歳入の方は予算現額に対して、調定額、収入済額があります。調定額というのは何かということ、歳入の金額と歳出とはトータルが合っていないが、どのように見ればいいのか。

服部 室長

予算の考え方につきましては、行政は単式簿記ということで、歳入、歳出独特の見方をするのですが、歳入でいきますと、予算現額につきましては、前年の予算編成の中で、これだけの歳入が見込めるということで、事業計画として組んだ部分でございます。その後、4月になり実際に事業を進めていく中で、歳入として、使用料であれば使う分、給食費であれば給食を食べる計画分であるとか、歳入として入る分について、その都度、歳入の調定という形で、実際の執行段階で定めております。事業計画、予算に対して、歳入として入る額を新年度に数字を押さえるということで、計画上 2 つの数字が出てくるということでございます。それに対し、一括して入るものや順次毎月入ってくるものも含めまして、積み重ねたものが収入済額ということでございます。収入未済額につきましては、民間企業と同じで、何らかの事情で年度内、あるいは出納整理期間の 5 月までに納めていただくことができなかつた部分が収入未済として、翌年度に繰り越す形になります。歳出につきましては、予算現額に対し、使った額を決算額と捉えており、翌年度の繰り越しにつきましては、国の補正だとか、景気対策などで年度内に執行が難しい分

につきましては、翌年度に繰り越します。行政につきましては単年度会計主義で、本来単年度で解決するものでございますけれど、止むを得なく、次年度に繰り越す調整が生じるものでございます。歳入、歳出の対比につきましては、予算上は帯広市としては、歳入、歳出の合計ということでスタートさせていただきまして、当然、決算の段階では、入ってくるもの、決算として出てくるものの差異が生じておりました、歳入、歳出の決算では合わないような形になります。なるべく赤字にならないよう執行させていただくものでございますし、あくまで教育費という部分だけですが、帯広市全体の決算ということで、歳入、歳出決算の中で精査して報告させていただく形になろうかと思えます。

塩野谷委員

市役所のやり方はわかりにくいと思えます。歳入と歳出が合わないというのはどうも理解できない。

池原教育長

塩野谷委員がおっしゃるのは、歳入、歳出の予算現額、決算のところですか。

塩野谷委員

予算も決算でも、基本的に収入と支出はイコールではないのですか。多少の調整はあったにしても。

池原教育長

例えば予算では、歳入だと 21 億ですが、歳出は 62 億になります。この差額は市税、国から入る地方交付税というものがここに標記されておられません。市税や交付税には色が付いていないので、何にいくらというのとは決まっていなくて、そこを振り分けるというのが難しいのです。

塩野谷委員

教育費にはいくらか使われているわけですね。その金額をきちっと記載すれば、わかりやすいと思えますが。

池原教育長

1 つだけであれば出せるのですが、市税とか、地方交付税とか、地方消費税交付金など、いろいろな収入があるものですから、振り分けるのが難しいのです。

塩野谷委員

本来であれば、きちっとそれを出さないと、極端に言えば、ごまかされても、わからないと思えます。

池原教育長

監査は通っています。監査委員は市の職員だけではなく、会計事務所の監査や議会側の議員も入っています。

塩野谷委員

わかりました。

田中 委員

細かいところの質問で恐縮ですが、学校給食費収入について、令和元年度の収納率について教えていただきたいと思えます。

稲葉センター長

令和元年度の現年度分の収納率は 99%、滞納繰越分が 25.3%になります。

田中 委員

大体 99% くらいですか。前年度などと比べてどうでしょうか。

稲葉センター長

前年度は 98.56%、28 年度から 30 年度につきましては、98% の中盤くらいで推移しております。

田中 委員

もう 1 点質問します。屋内スピードスケート建設の償還費について

て、10年くらい前に大騒ぎになった件ですが、後何年残っているのですか。

村井 補佐

こちらの収入につきましては、北海道からの建設費に対する補助金になります。今、手元に詳しい資料がないため、はっきりしたことは言えませんが、借入の関係もございまして、およそ25年で、建設から10年程度ですので、残り15年程度になります。

田中 委員

これは歳入ですから、道からの補助金が毎年5,190万円来るということですね。それを使って償還していくのでしょうか。帯広市もそれにプラスして支払うということですね。それはここでは見えないのでしょうか。

村井 補佐

北海道からの補助金と帯広市でも返済にあたって借り入れなどを行っており、そちら全体をまとめまして返済を行っておりますが、教育費からではない返済という形なので、こちらには載っておりません。

田中 委員

わかりました。

葛西 参事

建設の年に全部払っているのです。起債という借り入れを起こして、建設費を支払っており、それを起債償還ということで、毎年、別立てで借金を支払っております。最初に道から補助金を一括してもらえばよかったのですが、いろいろな事情があり、帯広市が起債を償還している約半分を道が補填をしてくれるというルールを設けまして、それが継続しているというやり方しております。

田中 委員

ありがとうございます。

佐々木委員

給食センター費のお話を聞いていて思い出したのですけれど、コロナの関係で学校が休校していて、その分のお金は浮いていると思います。それから各家庭から徴収している給食費の関係についてお聞きしたいと思います。確か給食費は各家庭の事情に応じて、毎月払い、または年払いにする家庭もあり、徴収の仕方はまちまちだと思います。細かい疑問なのですが、コロナで止まっている間、給食費がかからなかった分、先に一括払いをしていた家庭について、その処理はどうなったのでしょうか。一旦返したのか、再開した時の給食費に充てたのか。教えていただけますか。

稲葉センター長

給食が止まっている間、浮いているということについては、給食が出ませんから、当然、賄い材料の支出はないのですが、給食が止まっている日数分を保護者の方に減額します。いただいた給食費でもって賄い材料を購入しており、給食が止まっている日数分は減額しますので、使える賄い材料費も減っていきます。浮いているということではございません。それから、先にお支払いされた給食費につきましては、給食が止まっている日数分のお金を還付しております。

佐々木委員

一旦返した後、再開後は改めて徴収したということですか。

稲葉センター長

1年分の給食費は決まっておりますが、給食が止まった日数分を減額しますから、再開後は元々予定している日数分で給食費をいただくこととなります。年額で調整している形となります。

佐々木委員
稲葉センター長

それは数字として、ここには出てこないということですか。

令和元年度の決算になりますので、3月までの給食費で言いますと、今年は2月27日から春休みまで16日分の給食が止まっております。年額を計算し返還しておりますし、給食費につきましても、そこまでの給食費分で賄っております。

佐々木委員
池原教育長

ありがとうございます。

他になれば、質疑を終結します。

お諮りいたします。

議案第57号、令和元年度帯広市一般会計歳入歳出決算認定については、原案のとおり了承することにご異議ありませんか。

各委員
池原教育長

異議なし。

ご異議なしと認め、議案第57号は了承されました。

以上で本日の日程はすべて終わりました。

これをもちまして、令和2年第21回帯広市教育委員会会議を閉会いたします。